

第2回 西尾市障害者福祉計画・西尾市地域福祉計画等策定委員会 会議録

日 時：令和5年10月6日(金) 午後1時30分～午後3時10分

場 所：西尾市役所 53会議室

欠席：松宮朝委員・植田康裕委員・酒井正樹委員

西尾聴覚障害者協会は山本代理出席

<参加者>

委 員：18名

事務局：福祉課 岩瀬課長、渡邊課長補佐、杉浦課長補佐、柵木課長補佐

社会福祉協議会 都築課長、尾崎主事

業務委託業者：株式会社ぎょうせい 矢野、舟橋

合計 26名

傍聴人 1人

はじめに

岩瀬課長あいさつ

議事進行

田中委員長

1. 議題

(1) アンケート調査結果について(資料1)

事務局(渡邊)：アンケート調査結果の回答数の報告

事務局(ぎょうせい)：資料1-1の報告・説明

資料1-2の報告・説明

田中委員長：アンケート調査結果報告等に対する意見・感想を各委員に求める

鈴木委員：予算が伴うが施設を充実させてほしい。

スタッフが大変なため、待遇をよくしてほしい。

給与と仕事内容が見合った形にしてほしい。

蟹江委員：移動の手段について、もう少し充実してほしい。

中嶋委員：身元保証人をしているが、私も高齢になっていくので難しいと感じた。

滝川委員：グラフの書き方について、帯グラフの説明が小さいのでわかりやすくしてほしい。

説明の前の四角を大きくしてほしい。

障害差別について、21頁のところを前回のデータと比較してほしい。

働く場所について、35頁、西尾地区の雇用率が最低と聞いている。

誰が働きかけをするのか、ハローワークとだれが協働していくのか、心配し

ている。

事務局（ぎょうせい）：四角のところは最大にしているが、エクセルの特性・印刷をもう一度工夫する。

事務局（杉浦）：障害者雇用率を上げるように努めている。昨年度からハローワークと協働している。

永田委員：地域生活のニーズは多様だが、生活を支える仕組みが不足していると感じている。そこを補っていきたいと感じた。

石川委員：社会の変化が激しいので前回との比較が知りたい。

障害者が不安に感じていることが34頁で良くわかる。

その回答をどのように拾っていくかが今後のカギになると思う。

岡田委員：情報の入手については、実際には相談するところがわからなかったりする。設置するだけでなく、窓口で相談へこれるようにしないといけないと感じている。

外山委員：地域福祉の回収率は有効数なのか。

障害者の方が、自分自身で避難できるかを私は心配している。

町内会長をしている時にも、個別訪問をしたが、個人情報に妨げになり、思うように行えなかった。

事務局（ぎょうせい）：アンケートは標本誤差内。

事務局（柵木）：個別避難計画は市から指導しているが、情報を出してほしくないという方もいる。どうしていくかは今後も検討課題。

松永委員（山本代理）：資料1-1-2の16頁について、どの項目を見ても利用していないが多い。

また、17頁はわからないが多い。その理由を調べてほしい。

18頁のサービス内容が少ないことも調査してほしい。

事務局（ぎょうせい）：利用していない・わからない理由等は、アンケートからはわからない。

全国のアンケート結果でも、どの団体も変わりがない回答になっている。

全国的な動向と捉えている。

西尾市において、個別の理由はアンケートからはわからない。

有川委員：経年のデータを見せてほしい。

具体的なところを突き詰めないと効果的な施策ができない。

災害の時の対応が心配。当事者が行政の援助を希望するが近所には伝えたくない。

今後も当事者に理解を求めていく。

飯塚委員：資料1-2の12頁について、3.5%の数値に驚いている。

福祉センターに相談窓口があったが、利用が無い・ご近所トラブルの内容が多いとの理由等で廃止になった。そのことが数字に表れている。

アンケートは実際誰が回答しているか疑問を持ちました。

事務局（ぎょうせい）：障害者アンケートについては基本本人で、障害児は保護者です。

安藤委員：ボランティアのきっかけを、0から作って1にすることが大事。そのことにより、ボランティア人口が増える。行政がボランティアとかかわりをもつことが大事。

西尾市で約2万人のボランティアいるので、もっとお金がかからない行政ができるのではないか。

井関委員：健康寿命を延ばす活動をしている。健康で長く過ごせるようにしたい。

包括支援センターで行っていることを、老人クラブでバックアップするようになっている。

老人クラブに出てこない人たちにも情報が伝わるようにしないといけない。あまり老人クラブに出たがらない人にも伝わるように、より細かく行ってもらえたらありがたい。

稲垣委員：33頁の進学に不安を感じていることについて、深掘りをしてほしい。

就職の不安についても深掘りしてほしい。

大竹委員：一人暮らしの高齢者が増えている。

話し相手とか安否確認の声掛けも必要だが、個人情報の取り扱いについても考えないといけない。昔の考えではついていけないと感じた。

牧委員：母が身体障害者1級だが利用はしていない。何を利用したらよいか本人はわからない。無理やり利用することではないので、本人はこれでよいと考えている。今の状況を見守ることにしている。

田中委員長：異議なしで進行

（2）団体アンケートについて（資料2）

事務局（渡邊）：資料2-1の説明

事務局（柵木）：資料2-2の説明

事務局（杉浦）：事業所アンケートの説明

山本代理：資料2-1について、送付先が手話サークル2つしか書かれていない。

手話サークルは3つある。

事務局（渡邊）：資料2-1は案なので、入れる方向で考えていく。

田中委員長：異議なしで進行

2 その他

事務局（柵木）：現在、計画の骨子案を作成中です。委員会に提示するのは、もうしばらく時間をいただきたい。

予定していた第3回の10月19日（木）には間に合わないので、計画書案は各委員に送付することに変更していただきたい。

田中委員長：異議なしで進行。

計画書案は送付に変更して進める。

有川委員：10月19日（木）の会議は中止ということでもいいですか

事務局（柵木）：はい。

瀧川委員：骨子案は、委員の意見も考察したうえで作成していただきたい。

事務局（ぎょうせい）：アンケート結果等をまとめて、課題の抽出を行い、各委員の意見も含めて骨子案を策定する。

安藤委員：財政的な問題もあると思うが可能ですか。

田中委員長：事務局どうでしょうか。

課長：意見をできるだけ反映しながら計画策定をします。

田中委員長：策定後も見守っていくことでよろしいか。

事務局に進行を返します。

課長：その他意見がないようなので、これで終了いたします。